

はじめに

昨今の感染症法による感染症の分類の複雑化、新興感染症や再興感染症の発生及び多剤耐性菌の増加に伴い、指針、マニュアルの改定、職員・患者への周知・教育や現場への介入など院内感染対策部門は多くのことが求められるようになりました。海浜病院は、地域医療支援病院として感染管理においても地域の病院との連携や小規模病院への指導等の責務があります。これらの重要な役割を担うために、平成30年4月から感染対策部門を医療安全室から独立させ、新たに感染対策室を設置して3年経ちました。

令和元年度末から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、令和2年度から専従の感染管理認定看護師を2名体制とし、感染対策の更なる強化を図りました。これにより感染対策室は、事務局、診療局、看護部、臨床検査部門、放射線部門などさまざまな部門・部署と連携・協力しながら、新型コロナウイルス感染に院内クラスターを発生させることなく、多くの新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れることができました。

また、千葉市の自治体病院として千葉市保健所や医療政策課とも連携し、入院、発熱外来だけでなく、近隣施設のクラスター対応（ドライブスルー形式のPCR検査、介護施設への応援）にも協力しました。

年度末には、医療従事者等の新型コロナワクチン接種が開始され、3月中に職員全員の1回目の集団接種を終えました。After コロナ、With コロナ、これからどんな世界になるか、何が待ち受けているのか、未知のウイルスとの闘いはまだまだ続きますが、基本的な感染対策を遵守し、職員のみならず地域の皆さまが健康に過ごせることを願うばかりです。

【部門目標・評価】

目 標

感染管理に関する院内全員の知識・意識の向上をめざし、研修の参加率を90%にする。

評 価

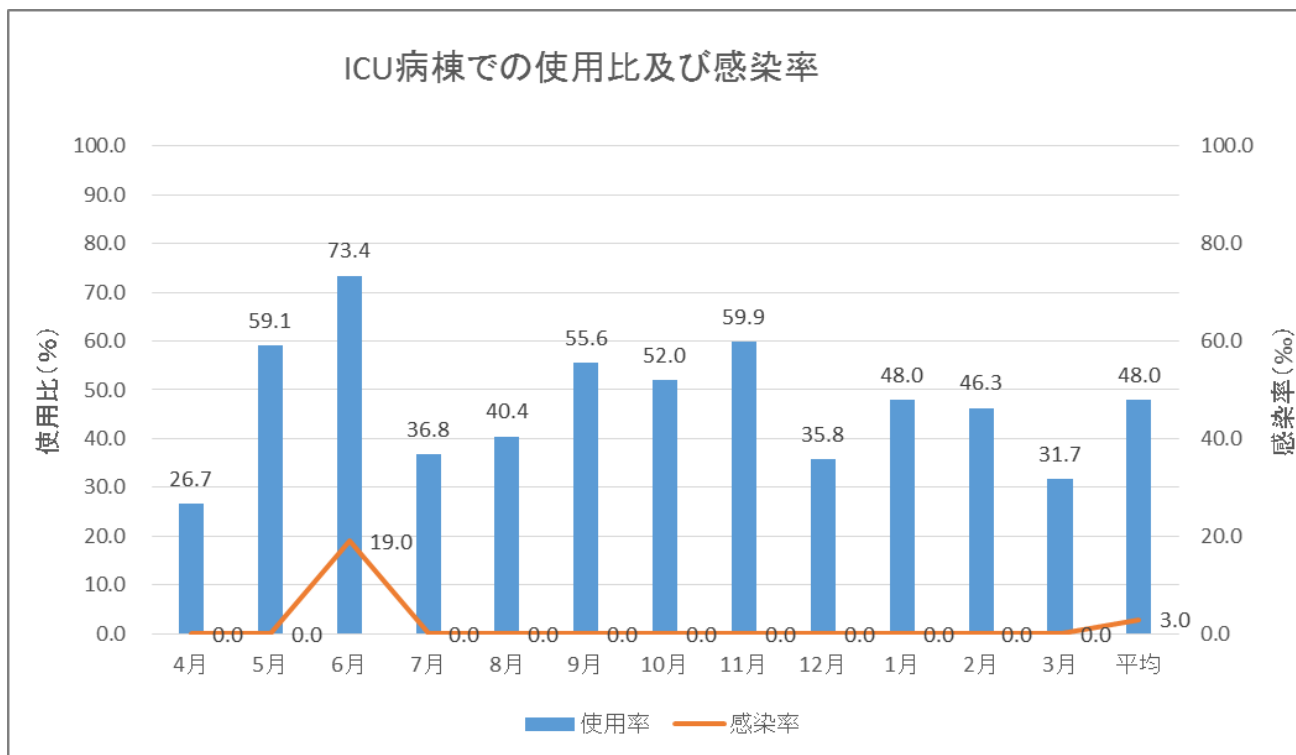
全体研修は新型コロナウイルスの影響でe-ラーニングでの受講とし、受講期間を1ヶ月と設定した。期間内では未受講者が多く、再三受講するように促し、最終的に受講率は第1回目、第2回目とも100%を達成し、目標を大きく上回った。研修方法や内容の理解度についての評価が十分ではないが、今後もこのような研修方法は継続されることも考えられるため、検討し計画していきたい。

【業務体制・スタッフ】

役職名等	氏名	感染管理・マネジメントに関する資格等	業 務
感染対策室長	須田 峰子		<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策責任者として院内感染防止対策の推進及び活動全般の支援
副院長	北 和彦		<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策担当の副院長として院内感染防止対策の推進及び活動全般の支援
感染症内科部長	阿部 克昭	感染症専門医	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の推進 ・院内感染防止対策のための方策、実施の確認に関すること ・感染対策委員会の委員長となり、毎月1回開催 ・ICT 及び AST への意見・提案・助言
副感染対策室長	窪田 眞弓	感染管理認定看護師 (専従)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の推進 ・ICT 専従職員として院内感染対策のためのマニュアルの見直しや実施状況の監査 ・AST 専従職員として抗菌薬の適正使用のためのマニュアルの整備や実施状況の監査 ・ICT 及び AST の決定事項について感染対策室長へ報告 ・院内外の感染管理に関する研修の企画・運営 ・感染防止対策地域連携加算に係る業務 ・職員の予防接種に関すること ・職員の血液・体液曝露に関すること
感染管理主任看護師	大内 咲絵		
薬剤部長	小原 義巳	感染制御認定薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の推進 ・AST の委員長として毎週のラウンド及びカンファレンスの開催
臨床検査技師	静野 健一	感染制御認定臨床微生物検査技師	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止対策の推進 ・ICT の委員長として毎週のラウンド及びカンファレンスの開催

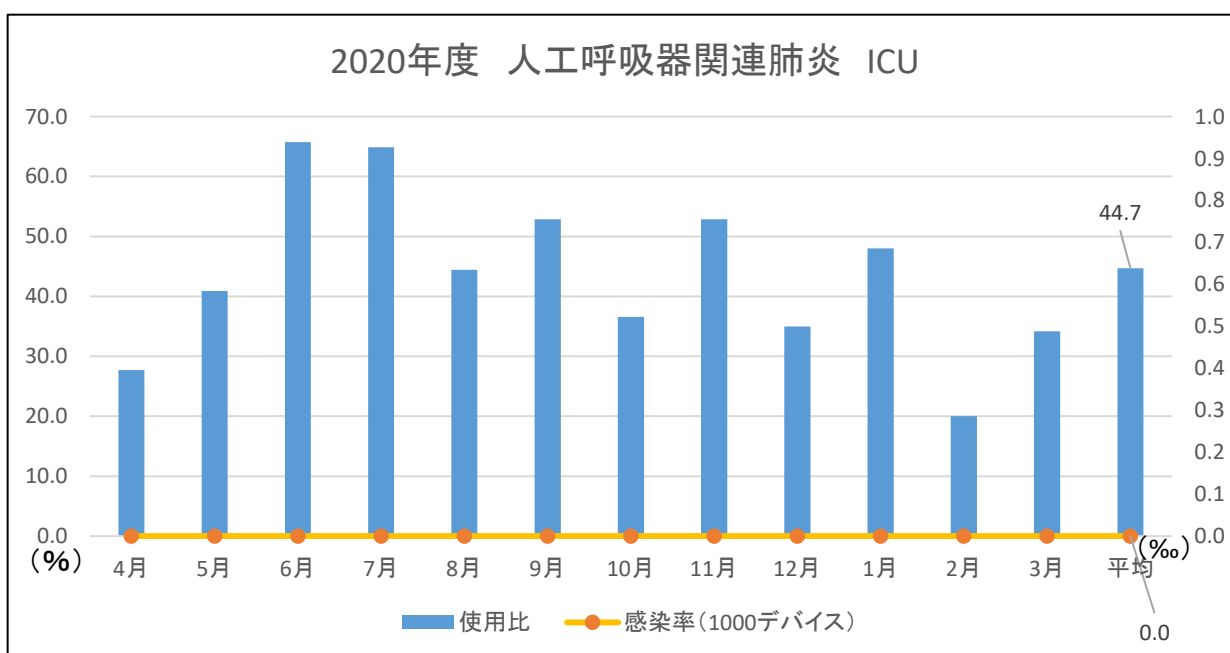
【サーベイランス】

1) 2020 年度 中心ライン関連血流感染サーベイランス (ICU)



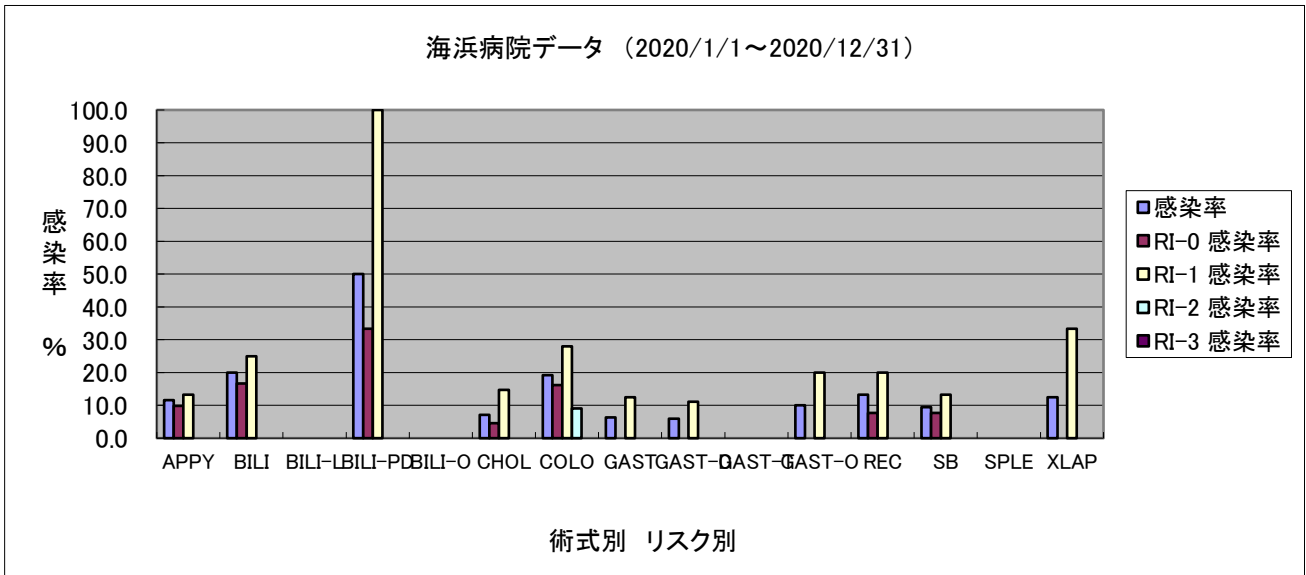
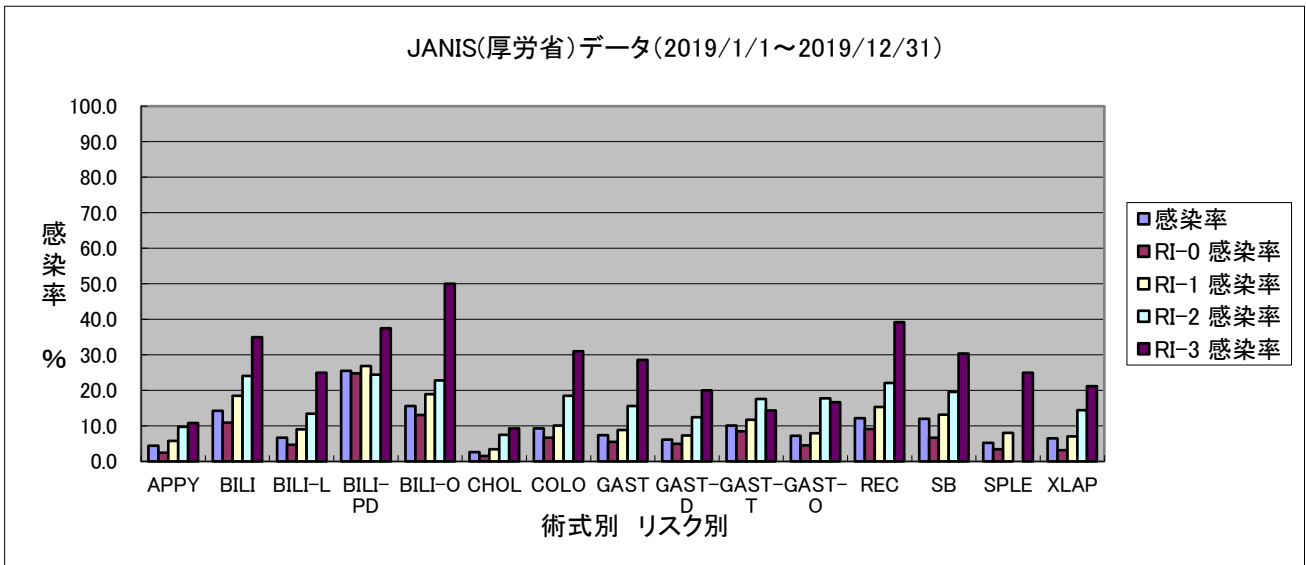
JHAIS 2020年7月～2020年12月データ 使用率：41.0% 感染率：1.6‰

2) 人工呼吸器関連肺炎サーベイランス (ICU)



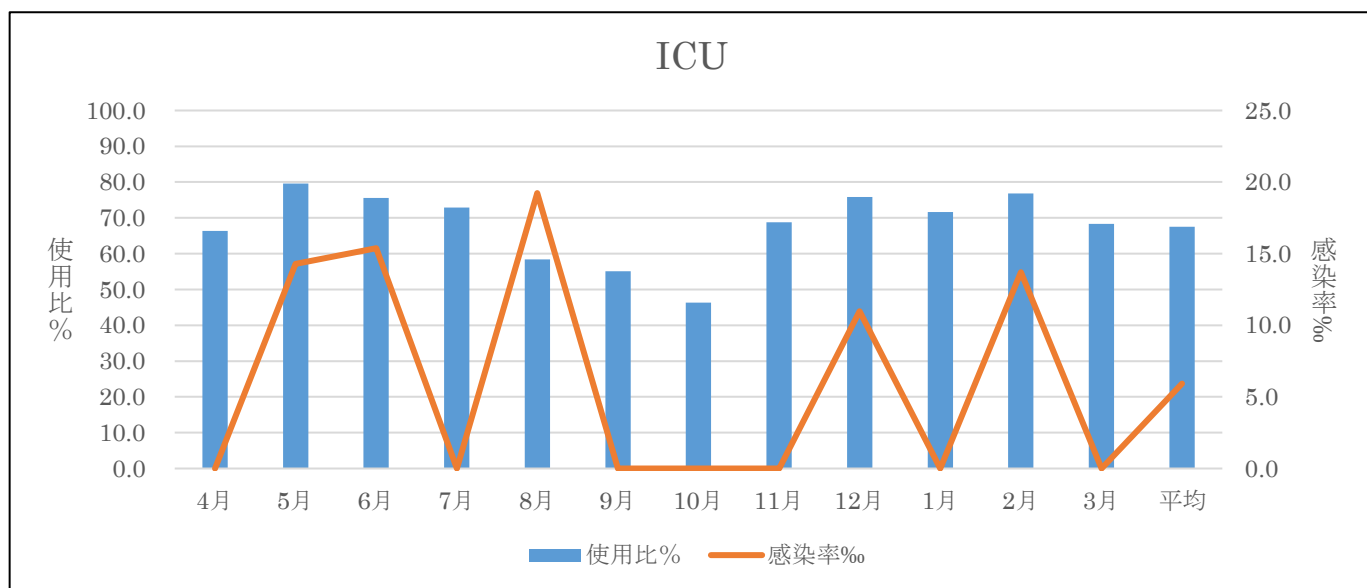
JHAIS 2020年7月～2020年12月データ 使用率：36.0% 感染率：2.5‰

3) 手術部位感染サーベイランス

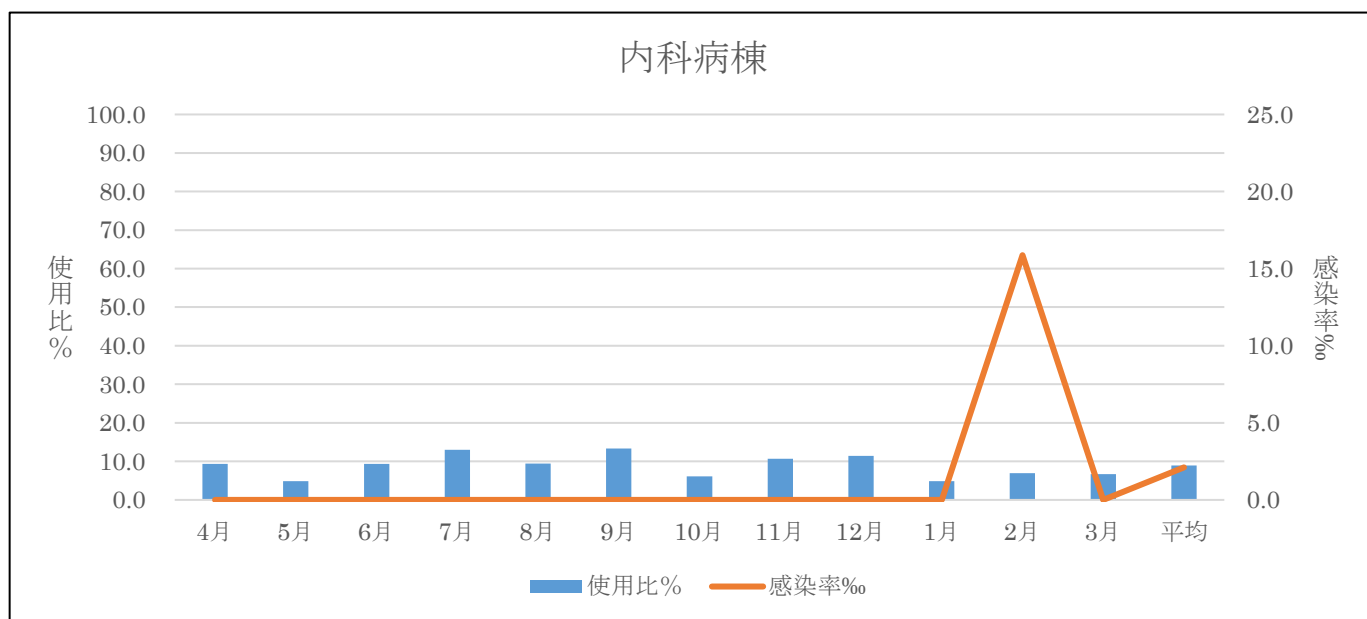


APPY	虫垂の手術
CHOL	胆嚢摘出・胆嚢切開
COLO	大腸の切開・切除または吻合
GAST(合計)	
GAST-D	幽門側胃切除、B I・B II 再建
GAST-T	胃全摘
GAST-O	胃手術(胃の切開・切除)
REC	直腸の手術
SB	小腸の切開あるいは切除
SPLE	脾臓の切除または操作

4) 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス

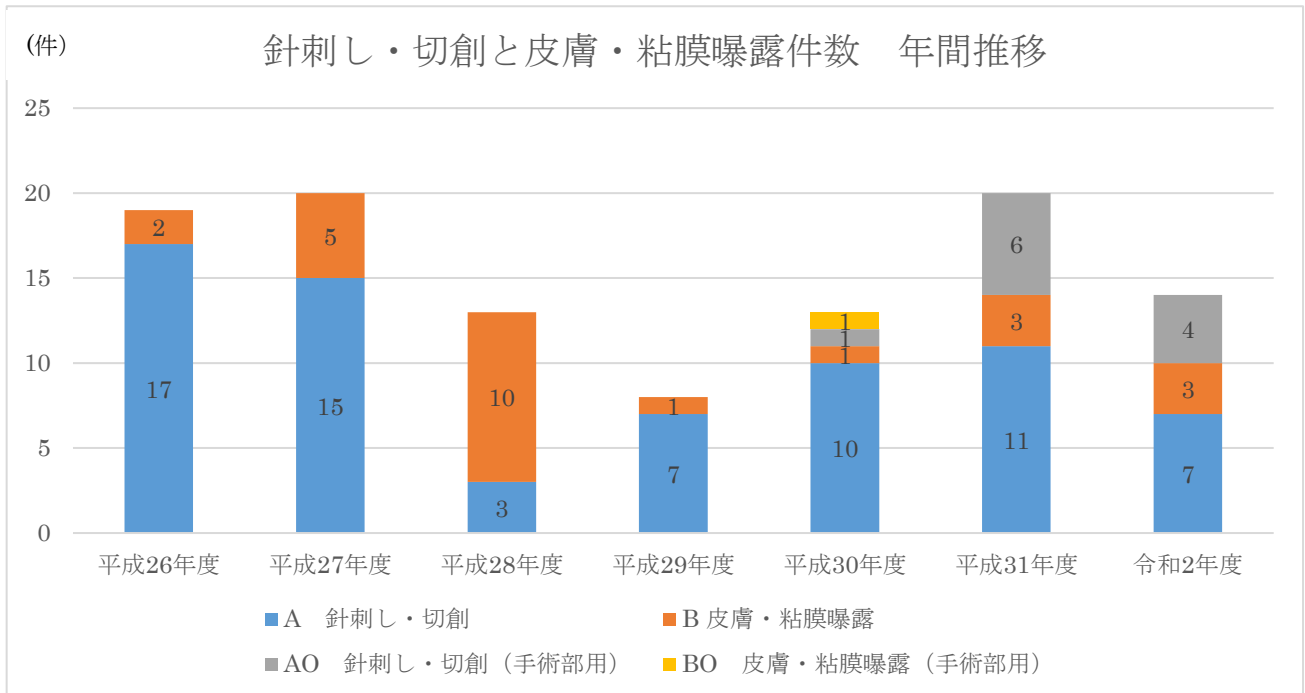


JHAIS 2020年7月～2020年12月データ 使用率：76% 感染率：1.1%



JHAIS 2020年7月～2020年12月データ 使用率：14% 感染率1.9%

5) 針刺し切創、皮膚粘膜曝露報告



【研修実績】

【総 括】

2020年の始まりとともに世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症に対し、当院でも多くの対策が必要となり、2020年度はコロナに追われたと言っても過言ではありません。一般診療の患者も受けつつ、コロナ患者にどのように医療を提供するか、日々様々な課題に対応してきました。このような中で、新型コロナウイルスを含め、他の耐性菌によるアウトブレイクが生じなかったことは、職員の感染対策の成果と言えると思います。

今後も、病院スタッフと協力をしながら安全で安心な医療を提供出来るよう、感染対策に努めて参ります。

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数 (受講率)
必須 研修	第1回 感染管理全体 研修会／抗菌薬全体研 修会	当院で検体提出・診断された COVID -19 の 3 例	6月	全体	476 名 (00%)
		抗菌薬を大事に使おう！AMR に立 ち向かうために①		医師・看護師・ 薬剤師・検査技師	423 名 (00%)
	第2回 感染管理全体 研修会／抗菌薬全体研 修	新型コロナウイルス感染症対策	12月	全体	439 名 (00%)
		抗菌薬を大切に使おう！ANR に立ち 向かうために②		医師・看護師・ 薬剤師・検査技師	373 名 (100%)
感染 管理 教育	新採用者オリエンテー ション	医療関連感染防止における当院の 取り組み	4月 5月 7月	新規採用者 中途採用者	42 人
		院内感染対策について			
		新型コロナウイルスの対応			
	看護補助者対象研修	個人防護具の着脱について ～新型コロナウイルスを見据えて～	12月	看護補助者	11 人